

対象：市内幼・保・小・中の保護者

回答数：89

質問数：3

実施期間：令和5年10月21日～11月6日

1. 未来の世代のための生駒市の教育は、今後どのようにあるべきと考えますか？

- 1 教育の即時無償化が必要
- 2 英語教育に力を入れていくべき
週一回あるかどうかの頻度ではなく、小学校時代からは週3程度の授業にする等、例えば朝の会や終わりの会だけでも毎日英語に触れる機会があるようになればと思う
- 3 発達障害などでこぼこのある子供達も平等にその子に合ったペースで学習できる仕組みと環境
- 4 公平、公正であって欲しい。
- 5 現代の家庭に沿った教育課程を編成すべき
- 6 不登校に悩む子供達に学ぶ場が学校だけでは無いという事を分かってもらえるように情報を発信して欲しいです。
- 7 小学校1クラス30人学級編成をしてほしい。
- 8 DX化をもっと進めて家でも学校でも同じ学力が保てるようになればいいと思います。高学年になればもっと子供の声を聞いて貰って今の様に大人が思いついた事を強制する教育ではなく子供の自主性によって学ぶ機会が増えればいいと思います。答えの無い事を考え答えを導き出す事。
- 9 偏差値で決めるのではなく、どんなことに興味があるのかを重視した教育を望みます。
- 10 将来社会に出て役に立つ仕事をする為に、自分で考え行動が出来、諦めずに踏ん張れる子になるような教育
- 11 社会で活躍出来る人間作り。
- 12 命の大切さを何よりも重視すべきだと考えます。そのためにいろいろなアプローチの方法があると思いますが、ひとつ挙げるとすると「性教育=生教育」にはまだまだ行き届かないところがあると感じています。

月経や射精はもちろん、コンドームの装着方法も男女同じ空間で実習が行えるといいかと思いません。性をタブー視しないことは命を大切に作る心を養い、人間関係を健全な形で築くことに繋がると思っています。このような教育は先生の負担が増えないよう、専門的な方に来ていただくのも重要な点だと考えます。セイシルというサイトは子どもたちにも親しみやすくリアルに知りたい情報が掲載されている良いサイトだと思うので、こちらを活用するのも良いかと思いません。

その延長ではありますが、私自身出産を経て、一番衝撃を受けたことは、退院したあとのことはほぼぶっつけ本番だということです。みなさんそう感じられたと思いますが、入院中の数日で授乳の方法や沐浴、オムツ交換など必死で体得し、あとはもう24時間体制でやるしかない。学校で子どもが産まれるまでのことは学んでも、それ以降の子育ての細かいプロセスをほとんど知ら

ないまま大人になることに危機感を覚えます。

妊婦教室などがありますが、小中学校の頃に自分がどこから来て今日までどう育ってきたか、そして自分が親になるときどのようなことが待ち受けているのか学習しておく必要があるのではないかと考えます。

長文となりましたが、少子高齢化が加速するなか、ひとりひとりの命を守ること、きちんと社会で自立して生きていける心を育むことが最重要ではないかと考えます。

- 13 不登校認定校、 単位制（必ずしも3年で終えなくて良い）
- 14 多様性を認めあえる寛容な社会を作ってほしい
- 15
- 16 グループワークが増えれば良いと思う。
自分で興味のあることを考え、授業として5分間程度行うなど人前で説明できる立場を体験させてほしい。
- 17 市内の小中学校間での教育の差が出ないようにしてほしい。授業数の差があったりするのは気になります。
- 18 勉強に力を入れていただきたい。塾ありきで先生方も教えておられる。
算数は学力別クラス、小テストも毎日や曜日で行うなどしてはどうか。
先生の負担が少なくなるようにというのが、すごく見て取れる。魅力を感じる教育ではないから、先生方もついてこないのでは。雑務を見直して、子ども達の教育にさく時間を増やしてほしい。
- 19 お金が有る無しに関わらず勉強が出来る無料のスペースをもっと作るべき。
- 20 幼児教育と学校教育の格差を実感しています。遊びの中から興味関心を引き出してくれた保育士さんの努力の結果育まれた自尊心が、学校に入った途端に、伸びにくくなったと感じています。
社会に出て100歳まで生き抜く力を作る根幹が必要だと思います。また、家庭教育の限界にも早く気づいて欲しいです。共働き家庭が増えている現実とカリキュラムが合っていないと思います。
- 21 読み書きそろばんの基本の推奨
- 22 未来の世代のための生駒市の教育は、以下の3つの点に重点を置くべきと考えます。

社会で生き抜く力

社会で生き抜くためには、基礎的な学力はもちろんのこと、コミュニケーション能力、問題解決能力、創造力、協調性などの力も必要です。生駒市の教育は、これらの力をバランスよく育むカリキュラムを検討する必要があります。

地域との関わり

生駒市は、豊かな自然と歴史・文化を有する地域です。生駒市の教育は、地域の資源を活用して、子どもたちが地域に根ざした人材として育つ機会を提供するべきです。

国際理解

グローバル化が進む現代において、国際理解はますます重要になっています。生駒市の教育は、子どもたちが異文化を理解し、尊重する力を身につける機会を提供するべきです。

具体的な取り組みとしては、以下のようなことが考えられます。

小中一貫教育の推進

小中一貫教育は、子どもたちの学びを9年間でより一貫性を持たせることができるため、基礎的な学力や社会で生き抜く力の育成に効果的です。生駒市では、すでに生駒北小中学校で施設一体型の小中一貫教育を実施しており、今後は他の地区への展開も検討すべきです。

地域協働による教育の推進

地域の資源を活用した教育は、子どもたちの学習意欲の向上や地域への愛着の醸成につながります。生駒市では、すでに「コミュニティスクール」を導入しており、地域の人たちと協力して、子どもたちがさまざまな体験や活動を行う機会を提供しています。今後も、地域協働による教育の推進を図っていく必要があります。

国際理解教育の充実

国際理解教育は、子どもたちが異文化を理解し、尊重する力を身につけることで、グローバル社会で活躍できる人材を育成することにつながります。生駒市では、すでに「国際理解教育推進計画」を策定しており、英語教育や海外研修などの取り組みを実施しています。今後も、国際理解教育の充実を図っていく必要があります。

生駒市の教育は、子どもたちが未来の社会で活躍できる力を身につけ、豊かな人生を送ることができるように、不断の改革と改善を続けていく必要があります。

- 23 今、子供を1番に考えた施策をとっているとは思えません。教育委員会は判断も遅く、決定事項は大人の都合によるものが多いように感じます。そのあたりにもどかしさを感じる人が多いです。誰のための教育委員会なんだと。

また、せめて、高校生までは家庭の状況によらず、本人の希望する学校へいけるように、学校だけでなく、塾などの補助も考えてもいいと思います。

- 24 子ども達の自主的考えや活動が活かされたり取り入れられたりするようなものであって欲しいと思います。

- 25 1. 体力向上
毎朝ラジオ体操
2. 読書量増やす
レポートなどはネットで調べさせず、本を読むよう推奨。タブレット操作(動画編集よ音楽の挿入など)に時間をかけ、内容が以前より薄いと感じた。読者感想文、日記の宿題の復活。
3. 農業、林業、伝統工芸に従事する人材を育てるなら、小中から触れさせ、将来の選択肢が増えるよう、体験させる。また、それで生計がたてられるようにしてほしい。
4. 国際化
交換留学、個別でオンライントーク
5. 学力別にクラス分け
中学受験をする子は授業がつまらなくて授業妨害をしてきた
6. 先生の待遇の向上
よい教育者ふえる
- 26 予測困難な社会で多様な価値観が認められる社会において、自分で考え行動でき、豊かに生きる人を育てて欲しいと考えています。
そのためには、多くの情報から必要なものを選択できるリテラシー能力、多様な人と協働できる対話言語能力、それぞれの世代で豊かに生きる wellbeing の考えを持つ生活能力を身につけるべきだと考えます。
- 27 多様性を認め 多様性に対応できるゆとりある教育
- 28 充分にさせていただいて、ありがたく思っています。
他を挙げるとしたら、昔の人の(年配の方の)体験のお話や、美術館の見学(例えば芸術会館美楽来など)とかがあれば面白いと思いました。
座学も必要ですが、校外学習で実際に体験して知識を得ることも大切だと思いました。
- 29 まず勉強できる土台作り。土台がないと勉強ができない。机に座れない。集中力が続かない。体力がないという悪循環に陥りがち。まずは体づくりのために基準値より栄養価が高い給食。特に子どもにとって大切なタンパク質、鉄分、豊富な給食の充実を市全域で取り組む。特に周りの親の話の聞いていると、朝ごはんはパンやシリアルだけという子が多い。共働き家庭が増えて、今後ますますこのような状況が進むと思われる。
育ち盛りの子どもたちにとって、栄養が何より大事。給食を他市よりも充実させることが差別化にもつながる。また全ての給食を白米にしても良いのではないか。
栄養価が高い食事は、学力にも体力にもプラスになることは、エビデンスがある。
- 30 どう身に付くか、やることで楽しく勉強できる場、保護者、子どもたちが理解できる説明ができる学習を進めて欲しい。
- 31 子供が奈良県外でも活躍出来るような教育、価値観

- 32 中学校も校区廃止にして欲しい。
部活の有無や支援学級の特徴があるので、学校を揃えるよりも特徴を活かして、選べるようにした方が良いと思う。
- 33 子供の基礎がしっかりできて、将来自立ができるよう機会と場所の提供ができる教育
- 34 目下の課題は教員の働き方を改善する事である。最も効果的な事は給与を改善することであるが、それが難しい場合は、勤務時間を見直す、多様な手続き、諸費の取り扱い等の事務作業を行う者を各校に1~2名常駐させる事でかなり業務軽減、ストレス軽減に繋がる。教職員にも子どもや介護を必要とする親等があり、現在その様な職員が増加してきている。そういった職員の雑務を減らし、ストレスを軽減する事がクラス経営に余裕を持たせ、結果的に学校に通う子ども達の質の向上の底上げになると考える。
- 35 学びの共同体の実践
- 36 AI時代に必要となるだろう人間力を養う教育。非言語的コミュニケーション能力、支援型リーダーシップなど。
- 37 時代に即した柔軟な教育と子どもの人権を守ってほしい。うちは共働きで学校にはお世話になっています。学校設備をみても40年前と変わらない。汚い、古い。大人の設備は綺麗で子供は汚くても使えるのかなのかなと思うと悲しい。学校設備を新しく、学童も増やして、人員も増やしてほしい。
- 38 不登校に対する教育、不登校だけでなく支援が必要な子に対する教育も充実させてほしいです。我が子が初めて不登校になり、以前よりいろんな支援は増えているんだろうとは思いますが、保護者としては気休め程度かな、と思います。必要な支援がまだまだ整っていない、と思います。我が子も就学前から教育相談にも行っており、今回も改めて相談にも行きましたが、その以前の情報は共有されておらず、また初めからのような相談内容、また別の場所に行けば、また一から相談内容等を記入、今までの相談は何だったのか、学校にも予め気に掛かることも伝えていましたが、それも活かされず。要支援とまで診断されていない子たちは、いろいろすり抜けてしまいます。不登校の子どもが増えているここ最近の傾向、不登校の子たちをただでなく、学校そのものの在り方、教育の方法を考え直す時期ではないでしょうか。

支援の不登校の子が通える教室も、子どもの休息には必要かもしれませんが…学校が合わない、先生と合わない、イジメが理由などで学校そのものに通えなくなっている子に対して、教育を受けさせる場所がありません。子どもが教育を受ける権利があるといえど、学校に行けなくなってしまうと、その場所が他に提供されていないので、子どもに学校と同等に勉強する選択肢を無償では与えられません。勉強については家庭任せとなり、生駒市だけではありませんが、国として義務教育の間の無償で教室を受けられる機会の提供が出来ていないと思います。別でお金をかけて勉強を教えてくれるところを探すか、家庭での勉強も、親は仕事もあるし教員でもないので限界があります。アメリカのようにホームスクールの様な制度も必要になってきているのではないのでしょうか。

- 39 グローバル視点を持った思考能力を育成し、将来の数ある問題に能動的に解決できるような教育であってほしい。
- 40 ・所得制限を設けない、経済的な教育費への支援が必要
・公立中学校では、内申を気にして、子どもたちはのびのび過ごせない、親は先生に言いたいことも言えないと聞きます。もっと、枠にとらわれず親も子も楽しく伸び伸びと学べる環境と価値観が必要
・教師や学校職員の資質向上が必要
・世の中で今起きていることに対する教養を身につけられるような学習の機会が必要
- 41 私立よりも公立のレベルが高くなるようにすれば住みたい人が増えるのではないかと思います
- 42
- 43 小学校は英語など昔に比べて学ぶ事が増えている反面、週五日学校制のため授業時間が少なく、また教科書の内容が薄い、演習問題が少なくなり授業内容が濃くないと感じています。まずは基礎学力の徹底をしてほしいと思います。そのうえで教科書に載っていない社会一般常識、政治・経済、法律や税金に関する知識を身につけられる教育を望みます。
- 44 小学校、中学校とお年寄りの施設や障害者施設がもっと近くに一緒に活動してお互いがちゃんといるってことを実感して、助け合うための交流をたくさん持てるようになればいいと思います。
- 45 個性を伸ばす教育
- 46 学校の中では、学年を越えて他学年との関わりから自分の役割やそれぞれの立場を体験することなど、人との関わり、共創が楽しいと思えるコミュニケーション力が、将来それぞれの場所でのコミュニティ形成への喜びにつながると思うので、それは、小さい頃からの集団の中で学ぶべきことかなと思います。
- 47 学校だけに頼らず市全体で子どもを育てていく、という観点で「生駒ならでは」「生駒だからこそ」できる取り組みや学びを期待したいです。自然と近い街にあるのに、都心寄りの考えに引っ張られている気がします。人数が少ない学校教員だけでは学びの本質が少ないと思います。生駒ブランドの子育て、教育を作っていくことで長い目で見て生駒にとって良い未来を作ることになると思います。
- 48 共生社会に力を入れる生駒市で、「障害や病気(医療的ケア)を抱える子どもたち」と「地域の子どもたち」とが、地域の保育園・幼稚園・小中学校で一緒に過ごせる教育体制を実現して欲しい。
「すべての子ども」が、共に過ごす(生きる)という経験を担保されることで、お互いを知り、認め、尊重しあい、多様性を認めることにつながると思います。
国連も指摘しているよう、日本の分離教育(地域の学校と養護学校)を改革して欲しい。
- 49 家庭での教育が基本ではありますが、熱意ある教職員の確保、質の向上に力を入れていただきたいです。
中学校の部活動民営化について、生駒市としての展望や進捗状況を早く聞かせていただきたいです。

これにより進学先を変更せざるを得ない家庭も多数出てくるはずですが、公教育への期待が少なくなってくるのではないのでしょうか。

- 50 どのような家庭の子でも、生駒市内の子は区別なく平等に教育やサービスを同じように受けられるようにあるべきだと思います。
- 51 大学まで教育無償化、経済的格差なく誰もが学べる環境が必要
- 52 学校以外に習い事や部活も増えるので、宿題は最小限にして欲しいです。授業の仕方も座学だけでなく、時に立ち歩いたり、参加型にし、自己表現の場を増やしてもいいと思います。発達障害にも様々な段階があり、軽度の場合、快く受け入れられるように教育者の人数や環境を整えた方がいいと思います。
- 53 誰でも平等に学べる環境であって欲しい。また、公立の中学校が成績上位の児童に合わせ過ぎて、普通に子供らしい何もさせられず過ごせる期間が短くなり過ぎている。塾に行かないと中学校の授業についていけないとかおかしい。
- 54 幼児教育に力を入れるべきだと思います。今は両親共働き家庭が多い時代、大事な幼児期に両親が深く関われないため、園にはこれまで以上の期待がかかっています。それなのに両親が願う教育が受けれる園を選べない。生駒市は他の市区町村から抜きん出て、幼児教育に力を入れることによって、魅力的な都市になります。
- 55 現在小学生の子供がいますが、勉強が楽しくないので学校に行きたくないと話しています。もっと参加型の授業、子供がより能動的に関われる学習方法を実施してもらい、学ぶ楽しさを感じて欲しいです。
体験学習やディスカッションの時間は昔に比べ少し増えていると思いますが、授業の進め方自体は昔とあまり変わらないように思います。
クラスを少人数制にした方が良くと思います。
- 56 枠にとらわれず、時代に合ったものをどんどん取り入れていくべきだと感じます。
- 57 成績ばかりに重点を置く教育を変えるべきだと考えます。先生に向上心をもってもらえる様な環境を用意すべきだと考えます。クラブ活動は外部の方にきてもらえると、先生もイライラせずに子供達に接することができると考えます。
- 58 これまで通りの全体教育で、みんなで学び合える場に加えて、より一人一人に合わせた教育ができる時間もあるといいと思う。ハイレベルに取り組める子、ゆっくりが良い子、それぞれに合わせて学べる環境があるといいと思う。

- 59 学校に行きたくても行けない集団行動が苦手な不登校の子供と子供を持つ家庭が金銭的な負担なく、平等に教育の機会与えられるように、給食も食べられるような体制を整えるべきです。在宅でも授業に参加できるようにもするべきです。また、給食については特に中学校でのフードロス削減の取組をするべきです。余った牛乳やヨーグルト等保管しておける冷蔵庫を設置して、部活帰りや学校の時間中に生徒が飲めるようにするとか、保護者から希望を募って配分するとか、やり方はあると思います。多様性を認めることが人権尊重、いじめ問題の解決に繋がるので、画一的であることばかりを求めず、先生の対応も、校則ももっと柔軟にするべきです。タイツは肌色ストッキングのみやスパッツ不可等の時代遅れな校則は見直して、冷え性の子もいるので、華美でなければレッグウォーマーも可に変更して欲しいです。学校の授業も、数学や英語だけでも教科ごとに進度別にクラス分けしたらよいと考えます。それがいじめや差別に繋がるといふのなら、その考え自体おかしく、誰も得意不得意があるので学校の科目ができなくても社会で得意分野を活かして活躍できることを教えてあげて欲しいです。
- 60 多様な未来（職業、ライフスタイル）を子供達に知ってもらう機会を提供し、夢を育みやすい環境を整える。そして、前向きな子供達へ全力で応援する環境をつくる。
- 61 発達・学習障害について、生駒市は幼児の頃からの支援がしっかりしている。他方で、グレーゾーンの子はその支援を受ける機会がなく、特に中学生以降で学習習得が困難になっている。そのサポートを生駒市が先駆けて支援できるようになれば、素晴らしいと思います。絵に描いた餅ではなく、実現可能な実施を求めます。
- 62 勉強の結果だけで、その子を評価するのではなく、1人の人間として尊重し、かたにはめるのではなく、その子その子の特性を伸ばし支援するのが本当の教育のありかただと思います。
- 63 同じ市でも、学校での教育の質の差がある。他の学校では担任が2人制でよく児童を見ている感じがするが、実際児童の多いところでは先生たちがいっぱいいっぱい児童のことをみれていないところもある。そういったところに教師をもっとおくべきだし、臨時免許の先生に担任を持たせるんじゃなく、学校がきちんと成り立つようにしてほしい。校長先生だけでなく、教育委員会もきちんと考えて学校づくりをしてほしい。あと行事の差もある。通わせてる学校では運動会以降とくにクラスが1つになり何かを達成する行事がまったくない。マラソン大会や音楽会などほかの学校ではきく。運動会も簡易的なもので、もうすこし子どもたちの心に残るようなものをしてほしい。コロナ禍で簡易になったのはわかるが復活するなら前と同じ通りに行ってほしい。子どもたちのために色々考えてほしいです。
- 64 環境に適応しながら社会と関わる力をつける
人と人のリアルな繋がりをつくる
- 65 未来の世代にとってもそうですけど、今の世代にとっての保育や教育についてのアンケートも実施してほしい。保育料第二子、第三子の無償化や給食費などの無償化など、子育て世帯を応援してほしい。必死に働いて子供と過ごす時間も限られているので、育休中に第一子が退園になるなどの制度も厳しい。そういう大きな制度の見直しを生駒市で取り組んでほしい。その上で、のびのびと色んなことを選択できる教育現場になってほしい。

- 66 塾など行かずとも学校で塾レベルの教育を受けれるようにしてほしい。塾に行くのが当たり前とされてる生駒市で子育てするのは子どもにとっても影響を与えている。お金もかかるから貧富の差で学びの場に影響があるのは不公平。
- 67 学校教育は今の水準の維持、個性に合うそれ以外の学びを充実させて欲しい。
- 68 学校では協調性がないと、みんなと纏まる事が出来ず、興味の有無に関わらず課題がありやりたくない事に長時間縛られて、楽しくないと感じる事が多いと思います。教科についても、難度がマッチしない子にとっては苦痛です。理解度がどうあれ進み、フォローがありません。特に問題なのは、やはり理解の遅い子だと思います。週に1~2時間、苦手と感じる科目のフォローをする授業時間を確保する(学年全体で、個人に苦手科目を選択)フォローの必要ない子どもについては、思考力問題等の知的好奇心を刺激するような課題を与える。子どもの教育は、大部分が家庭に責任があると考えます。宿題や持ち物、遅刻をしない等基本的な事を見守るのは家庭です。今は、これらについても学校の負担が多いのではないかと感じます。個性の強い子ども達に苦慮する事があると思いますが、先生方が精神的に健康である事が子ども達の豊かな学校生活に通じると思っていますので、働き方改革についても難しいとは思いますが、進めて頂きたいです。
- 69 子供の人生・未来は続く土台を担っていることを自覚して、保護者と教育者(先生)が、密にしっかり連携を取れる教育
また、お年寄りと子供との関わりで学ぶことがたくさんあると思うので街ぐるみで(今は核家族)作り上げられたら素晴らしいですね。
- 70 障害児も学べる学校環境作り、支援学級の先生をもっと教育してほしい
- 71 共働き世帯が増えているので、放課後の教育環境も整えるべきと考えます。
- 72 学校での教育はもちろんですが、何らかの理由で学校に行けない子供の支援を同じくらい手厚くしてほしいです。現在不登校の子供は、保護者がすべて動き、声をあげなければ何もしてもらえない。のびのびほっとルームが出来ましたが、それにも行けない子供もいます。
不登校の子供がいると家庭で日中みることになり、昼食代が毎日かかり、のびのびほっとルームは送迎が必須で、送迎代もかかります。
経済的に他にも色々かかることがありますが、何も補助がなく全て家庭負担で家族の休まる時間もなく精神的疲労も大きいです。
将来の不安も大変大きくなるばかりで、分からないことが多く、支援が少なすぎて子供はもちろんのことですが、保護者も経済的精神的に辛い状況です。
- 73 固定概念にとらわれない様々な学習環境の整えを整えて、個性を大事にすべての子どもが教育を自由に受けられるようにしてほしい
- 74
- 75 多様性を認め、その子が輝ける学びができるよう一つの学校ではなく、学校を選べるようになればいいと思います

- 76 公園や生駒市の中にある自然をもっと子供のためのものにできると良いと思う。公園では、花壇以外の場所に生えている花でも花を摘んだら自治会に文句を言われたりする。
- 77 こどもの人権を守ってほしいです。学校施設はぼろぼろ、学童はぎゅうぎゅうで人権てなんだろうなあと思ってしまいます。また、トイレの自由を！大人は仕事中にトイレに自由に行けるけど、子供は違う。自分が子供の頃それで随分困ったので。
- 78 子どもがのびのびと学べる環境の継続
- 79 子供の能力発達に応じた文科省に定められた学習内容の学習環境の整備(全体授業でのペースでは学習内容の理解がついていかない子供達や不登校の子供達へのオンライン教材など)を進め、自分の知識が社会に活かされる体験を通し、学ぶことの楽しさを感じる教育を実現していただきたいです。
- 80 いじめと言う言葉をなくし、それぞれ犯罪であることを周知し、学校から犯罪をなくす男女関係なく子どもたちがそれぞれ「好きなもの」を周りの目を気にせず身に付けられるような社会にする
デジタル化も大切だが、それ以上に子どもたちが「私は1人の尊重されるべき大切な人間」であることを自然と理解できるような教育を期待します。
- 81 現在でも生駒市の教育は良いと思います。今後もそれは継続すべきだと思います。今後、今以上に少子高齢社会になるので、その際には子供達個人に合った教育をすべきだと思います。
- 82 通信事業者のドイツテレコムは、親が子どもの写真や情報をインターネット上で公開すると、子どもの将来に悪影響を及ぼす可能性があるという警告する動画「Nachricht von Ella | Without Consent (エラからのメッセージ | 同意なし)」を下記を公開しました。
https://www.youtube.com/watch?v=F4WZ_k0vUDM&t=2s 生駒市は親の許可があるということで市が子どもの顔を Twitter で公開し、教育長もたびたび”いいね”されていますが、この動画をみてどのように思われますか？未来の世代のためにただちにネットで子どもの顔を公表しないことを願います。そして一人でもその被害にあわないように願います。
- 83 勉強も大切ですがお互いを思いやり健康な心身で過ごせる人間力を育てる教育が未来を担う子供たちには大切だと思います。
- 84 能力や家庭環境などに関係なく、すべての子どもたちの育ちをサポートする環境が必要だと思います。勉強に興味がある子どもたちにはより深く学べる環境を、勉強以外では(将来の仕事に結び付くような)技術を学べる環境があってもいいのではと思います。ひとりひとりが将来、何らかの形で社会に貢献できるように、よりきめ細やかなサポートがあればと思います。

85 現在、生駒市内の小学校に通う1年生の保護者です。

私自身、幼稚園から中学校まで生駒市の公教育を受けて育ちましたが、40代後半になった今でも、人生に迷い続けています。

思い返せば、中学校に上がる頃から「内申点」というのが気になりだし、そこから私の「点数稼ぎの、いい子ぶりっこ人生」が始まりました。常に先生からの評価を気にして、ルールを守り、周囲に同調しながら優等生でいることで点数を稼ぎ、成績を上げることばかりを優先してきました。少しでも偏差値が高い進学先を目指し、「落ちたら終わりだ」という強迫観念にかられて必死で勉強をしました。

念願の大学に入ったものの、今度は大きく戸惑いました。それまでは、常に課題を与えられ、それをこなしてさえいけば前に進めたのに、急に自分で考え、自分で決める必要が出てきたからです。

自分はどんな人間で、何をやりたいのか、そのために今何をするのか・・・

長い間、優等生の仮面をかぶってきたので、自分の本質が全くわからなくなっていました。何も決められないまま就職活動の時期に入り、就職氷河期で手当たり次第に受けた中からやっと受かった会社から社会人生活をスタート。以来、自分はどんな人間で、何をやりたいのか、分からないまま今日まで来てしまいました。

やりたいことを見つけてそれを極められていたら、あるいは磨き上げてまた次のやりがいに繋がられていたら、どんなに幸せだろうと憧れます。

これからの子どもたちには、こんな思いをしてほしくないと思います。

そのためには、

【やりたいことを自分で決める練習】

小学校のうちから、自分自身と向き合う経験を積み重ね、「なりたい姿」や「好きなこと」に没頭できる時間をできるだけ多くつくってあげてほしいです。

*まさしくその趣旨で展開されている『ドリームマップ®』プログラムの導入も検討していただきたいです。

<https://camp-fire.jp/projects/view/703276>

また、学習内容や宿題を子どもたち自身が選択できるようにすることで、学びたいことへの意欲の向上や、やりたいことを自分で決める練習になると思います。

【多様な価値観に触れる機会】

いろいろな人に出会い、いろいろな体験を通して、いろいろな考え方や価値観に触れてほしいと思います。そのためには地域との関わりが不可欠で、原井教育長の「子どもたちが社会で生きていく力を身に付けるために、より自然に地域の皆さんと出会い、関わり、意見を交わし、認め合える機会を、地域とともにつくっていくことが必要」（広報いこまち 2022.2 P16 より）とおっしゃる通りだと思います。

昨年の教育フォーラムで塩瀬隆之さんのお話にあった禅語、「我逢人（がほうじん）／どんな人に会ってきたかで自分がつくられる」もまさしく。

【評価のあり方の見直し】

内申点→強迫観念→点取り虫につながるような評価は、私のような人生迷子を生むことになるので見直してほしいです。脅迫ではなく安心につながるようなあり方が必要です。子どもたちは、評価の目線がないことで安心し、安心してはじめて主体性を発揮するのだと思います。

制度を変えるためには、まずは人の価値観を変える必要があります。これまで、マイノリティな人や考え方を排除し、集団主義・平等主義、偏差値史上主義だった側面があるなら、そうじゃないと伝えていかないといけません。正解は一つじゃない、選択肢があるし、答えは自分でつくり出せるということを、まずは大人が認識し子どもたちに伝えていけるような教育を切に願います。

【南第二小を真のモデル校に】

これらの取り組み、革新は、小規模校なら始めやすいと思います。

科学とかプログラミングなどの英才教育っぽいものなどではなく、地域との関わり合いの中から学ぶ、真の＜魅力的なプログラム＞を進めるモデル校として、二小を目当てに教育移住が起こるような、先進地・先進校にしてほしいです。

- 86 お金の教育や、今で言うとウクライナやパレスチナの情勢なども教える
- 87 色んなイベントやお祭りがあれば楽しくなる
- 88 今が楽しく、将来の事を考えると楽しみなる教育。
- 89 各国で、中止されている、危険な小児ワクチン接種の推奨や、市民に対するコロナワクチン接種の強要を即時、中止し、未来の子どもたちの健康と、その保護者の健康を確立し、安全で、安心出来る環境と、一人一人が自分のペースで、きちんと自ら学べる環境を確立する。

2. 学校以外の場で、子どもたちにどのような学びや体験をしてもらいたいと考えますか。

- 1 生活力を身につけるため、キャンプや自然遊びの体験をしてもらいたい
- 2 仕事というもの、お金というものの学びは必要だと思う
- 3 農業、美術、音楽など、本物に無料で触れられる機会
- 4
- 5 社会スキルを身に付けられる体験
- 6 世の中にある職業で子供達の目に触れることのない職業を学べる場があれば将来の参考になると
思います。
- 7 自然に触れ合う活動
- 8 経済に関する学習 日本ではお金の話はタブーですが今のような政府の政治力ならば自活する経
済力を養う必要性があると思います。
- 9 小学校の放課後にイベント的にあればそのまま行かせたいなあと思います。内容はインドア、ア
ウトドア、スポーツ、性教育、犯罪についてかと。
送迎があると嬉しいです。
- 10 物作りなどのリアルな社会見学や、職場見学。
お金の運営など。
- 11 ボランティア、プログラミング、職業体験など
- 12 生駒市(生駒駅周辺)は広い公園が少ないので、思い切りボール遊びをしたり、自転車の練習がで
きるところが少ないので、運動能力を育む機会が増えるといいと考えます。
- 13 命をいただくことについてのワークショップなど
- 14 地域との繋がりが希薄になってきているので、それを補うような経験や達成感を得られる経験
- 15
- 16 山や川で自然に触れる。
動物との触れ合い体験
- 17 いろんなスポーツに触れたり文化に触れられる環境が整うとありがたい。
- 18 地域の方に助けてもらったり、助けてあげたり、そんな学びは大切だと思います。
- 19 体力と知力付けるサバイバルゲーム。
- 20 生駒市は子育てしやすい町と聞いていましたが、私は全くそうは思いません。
実際、未就園児までは支援も手厚いと感じましたが、そこからは何も頼れません。
何より、就園以降の子どもの遊び場(室内外)が本当に少ないです。
子どもは遊びの中で学び、子どもの中で学んでいきます。
学校以外の場で必要な学びが出来る場合は、大人が用意する体験ではなく、プレーパークのよう
な、子どもたちが全身で思いっきり遊べる場所だと思います。
特に生駒は魅力的な公園が少なく、公園でゲームをする子をよく見かけています。

21 自然と親しむこと、他者を認めること、

22

学校以外の場で、子どもたちに次の3つの学びや体験をしてもらいたいと考えます。自然体験自然の中で遊んだり、学んだりすることは、子どもたちの心身の成長に不可欠です。生駒市は、豊かな自然に恵まれている地域です。子どもたちには、自然の中でさまざまな体験をしてもらいたいと考えます。例えば、登山やキャンプ、自然観察などの体験を通じて、自然の大切さを学び、自然と親しむ心を育ててもらいたいです。地域活動地域の人たちと交流しながら活動することは、子どもたちの社会性や協調性を育むのに役立ちます。生駒市は、さまざまな地域活動が行われている地域です。子どもたちには、地域の人たちと交流しながら、さまざまな活動に参加してもらいたいと考えます。例えば、ボランティア活動やまちづくり活動などの体験を通じて、地域に貢献する心を育ててもらいたいです。異文化体験異文化を理解し、尊重する力は、これからの社会を生きる上でますます重要になっています。生駒市は、多様な人々が暮らす地域です。子どもたちには、異文化に触れる機会を積極的に提供してもらいたいと考えます。例えば、海外留学や国際交流などの体験を通じて、異文化理解の力を育ててもらいたいです。具体的な取り組みとしては、以下のようなことが考えられます。自然体験活動の充実生駒市は、豊かな自然を活かした自然体験活動を充実させるべきです。例えば、学校や地域の団体と連携して、登山やキャンプ、自然観察などの体験活動を実施するなどの取り組みが必要です。地域活動への参加促進生駒市は、地域活動への参加を促進する取り組みを進めるべきです。例えば、地域の人たちと交流できる機会を提供するなどの取り組みが必要です。異文化体験の機会提供生駒市は、異文化体験の機会を積極的に提供すべきです。例えば、海外留学や国際交流などのプログラムを支援するなどの取り組みが必要です。子どもたちが学校以外の場でさまざまな学びや体験をすることで、社会で生き抜く力を身につけ、豊かな人生を送ることができるようになると考えています

23 英語が喋れるというのではなく、異文化や海外の方々との関わる機会があればいいと思います。

コミュニケーションを物怖じせずとったり、いろんな世界を知る機会を与えたいです。

24 自分から「やりたい!」と思えるようなことであればどういったことでもいいです。

子どもたちがしたいと思った時にすぐできるような環境や場が身近にあると親としては助かりますし、子どもたちも身近であることで安心したりやっている子を見て刺激を受けたりすることができると思います。

25 運動場、プールの解放など体力向上すること

26 核家族が多い中、多様な世代との関わりを増やして欲しい。

また教科教育にはないが今後大切な教育の学びの場を作って欲しい。例えば、金融教育、キャリア教育、宗教教育、性教育、プログラミング教育、読書教育など。

27 社会性です 地域のコミュニティで多様な年代の人や多業種の大人など いろいろな人とふれあう活動や学びをしてほしいです

- 28 給食センター見学や、マナー講座（神社参拝のマナーやお墓でのマナー、食事の作法など）や、切符の買い方などがあれば面白いです。
- 29 学校以外とは校外学習のことか、放課後のことか、よくわからない。
放課後であれば、今、子どもたちがボールを蹴ったり、投げたり自由に遊べる場所がかなり限られてる状況。
学校の運動場の積極的な活用を検討してほしい。
- 30 林間学校 泊まりがけで、ものづくりや火お越し、料理、テント張りなど
- 31 少しでも興味があれば参加しやすいイベントが既に沢山あると思います。理系、文系、運動系分野の体験が多岐に渡ってあるので楽しみにしています。強いて言うならば、図書館の規模がかなり小さいです。市の人口規模が違うかもしれませんが、例えば世田谷区の図書館はかなりの規模なので、中学生でも土日に図書館で1日を過ごせます
- 32 外国人との交流、農業体験、プログラミング
- 33 日本の伝統のこと、簡単な着物の着付けや生活できるための何か…など。
- 34 生駒市は塾に追われ本来大切な事を学ばずに成長していく子どもが多くいる。
本来は家庭で行うべき事であるが、多様な家庭があるため、勉強ではない学習や体験の場がもっと多くあっても良いのではないかと思う。
例えば、自然体験や体を動かすスポーツ、音楽やダンス、料理や絵画等、勉強では学べない大切な事を学ぶ場を多く設ける事で子ども達の気づけなかった才能を見つけられたり、他者と協力し思いやる道徳心が育まれるのではないだろうか。
- 35 職業体験
- 36 職業体験、外国人との交流、障がい施設訪問など。
- 37 小さな子がいますが、お友達と楽しく安全に遊べる場が欲しい。現状生駒にはそのような施設が少ない。
- 38
- 39 人や自然環境との繋がり大切さを体験として知ってほしい。
- 40 ・同世代の子どもとたくさん体を動かして遊んでほしい
・第一次産業に興味を持つ子がいれば早くからそういった学習ができると良い
- 41 海外の人との触れ合いをしてもらいたいです。
- 42 野外活動の体験など、生きる力をつけてほしい。
- 43 法律、税金の仕組みを学んでほしいです。これらは社会人になって初めて直面する人が殆どですが、それでは遅すぎます。（自分の仕事経験から、これらに疎い社会人が多すぎると感じています）
- 44 自然の中で仲間と協力しながら達成感を味わう体験、整備された場所じゃなく自然を感じながら工夫する知恵をつけれるようなのをしてほしい。登山などいいかもしれません。近くの山でいいので。
- 45 農業体験や病院で働く人を観て学ぶ

- 46 地域のことを知ることが、自分とのつながり、心の安定になるかと思うので、生駒山などの自然のことから、往馬大社や、高山の茶釜など、生駒ならではの場所に行き感じる学びが大切だと思います。
- 47 自然と近い街なので、もっと自然の中で遊ぶ機会をどんどん増やしてほしいです。
その中で多様な年齢の方と触れ合っていくことが
特別じゃなく、当たり前になる機会を期待します。
- 48 ・デイサービス等へボランティアとして参加させていただく機会
・イベントに参加して楽しかったというような受け身的なものもありがたいが、子ども自身が主体的に生駒市の社会課題に関わり、役にたてるような活動があれば、体験させたいです。
- 49 例えば、神社仏閣等、文化遺産豊富な奈良市の隣にありながら、幼稚園小学校の遠足や社会見学の候補地にならないので、家庭で連れて行き学びの場を提供しなければならないと感じています。
私達保護者の子供時代には、若草山、大仏、薬師寺等に行きました。現在は何か遊びの場所が候補地になっているので、教育の観念から外れているように思い残念です。
- 50 個々に得意なことを伸ばせるように、幅広く体験ができ、それを試せる環境があればと思います。
- 51 自分で考え、自分で決定して行動ができるような体験や、様々な職種の職業体験
- 52 経済についての授業があったら自分の将来を考えやすくなると思います。
- 53 職業体験
- 54 生きる力を育む体験と、人と人の繋がり大切さを知る体験をしてもらいたいです。
電気ガス水道などのインフラがなくても、人は生きていけるということを、体験を通じて知ってもらったり身につけてもらいたいです。
また、人はひとりでは生きていけない、大きなことを成し遂げる時には沢山の人の力を合わせなければならないことを、体験を通じて知ってもらったり身につけてもらいたいです。
色んな人がいるけれど、認め合い、助け合い、そして力をひとつにすることを体験してもらいたいです。
- 55 色んな学年の子供たちで工作やイベントなどで交流して横の繋がりをもっと作ってもらえたらと思います。
- 56 日本の国内外で活躍されている方から、実践的な事を学んだり体験できる機会があれば視野もどんどん広がるように思います。
- 57 中学生に、職業体験を3年間毎年やらせ、仕事をするという責任感、向き不向き、興味のあるなしを発見することで、将来の夢につながると考えます。
- 58 小学生の間は子ども同士で放課後遊ぶ時間を大切にしてほしい。
- 59 職業体験や農業体験
- 60 スポーツ、職業体験、他校との交流など、とにかくトライアルできる数を増やし、気づきを得て欲しい。(これは向いてない、好きでないも含めて)

- 61 コミュニケーション能力をつけられる学びがあるとよい。子供の最終目標は、自立する事と思います。そのために、働くわけですが、結局、仕事するにも周りの協力は必要で、人間関係が重要になるからです。
- 62 素敵な大人に触れて欲しい。社会を日本を変えようと努力されてる色々な素敵な大人や場所に。
- 63 部活動がなくなり、その地域に任されるようになるが、その代わりになるようなものをつくってほしい。
- 64 みんなで協力してイベントを主催する経験など
- 65 子供主体の経験
- 66 勉強だけでなく、生駒の自然にもっと触れ合える場を作って欲しい。
- 67 やりたいことを突き詰める。学校で会えない大人や他の同世代との交流。
- 68 既に行われているもので、色々興味深い物がありますが、土曜日の子どもの習い事と時間がかち合うので、参加出来ないという事がよくあり既にこのような体験があるなら申し訳ないのですが、

自然の恐さを知ることは、生きていく上で非常に大切だと思います。

アウトドアで、危険な虫や植物を教えてあげたり、行ってはいけない場所、触れてはいけない物、第一は親が教えるべきですが、親さえ知らない事が沢山あると思います。

あらゆる事に疑問を持ち、危機管理の出来る子どもに育てて欲しいと思います。

- 69 人との関わりや親と離れて学ぶ体験
例えば小学校の授業でもいいので
一人暮らしのお年寄りのお家に挨拶をしに行く。とか。街ぐるみで子育てと見守りができたらそんな素敵な街はないとおもいます。
- 70
- 71 職場体験、海外交流など、将来の目標を立てる手助けとなるような体験をして欲しいです。
- 72 色々なイベントや体験の場はありますが、参加出来ない子供がいることを考えてほしいです。すべての子供が平等に出来ることを考えてほしいです。
- 73 世界は広く、楽しい事を知って欲しい
- 74
- 75 塾など行かせてる人が多く、4年生以降になると、放課後遊ぶ子がいない。
放課後、友達としっかり遊んでほしい
- 76 ワークショップで自然物を使った工作やサンドアートなど、作る楽しみを体験してほしい。
- 77 自分の信頼するお友達と協力して何かをやる。
- 78 将来のためになる社会経験

- 79 自然を生かした遊び、その中での自然の観察、そしてその観察力から人間社会を観る一連の体験をそれぞれの子供の成長に合わせて体験してもらいたいです。
- 80 校区以外の友だちを作り、学校に行けなくなっても社会から孤立しないように配慮したい
さまざまな分野の専門家（教員ではなく職人やサラリーマンなど）と直接ふれあえる機会が増えるといい
- 81 生駒には田畑が多いので、田植えなどの農作業。
- 82 ジェンダーで役割が決まることのない世界を体験してもらいたい。
- 83 他県で子育てをし奈良ではあまり見かけない子どもを1人の人間として尊重して大切にその時にしか出来ない遊びや人間関係などの体験を沢山させて貰える幼稚園に通い自発性や人間力が育ちました。引っ越してきて周りを見たり奈良で育った下の子を見てより感じます。なかなか集団行動でするのは難しいとは思いますが教育現場で一般的な日々大人主導で物事を押し付けて進めるのではなく子ども主体で力を育てる場があればいいと思います。
- 84 文化、芸術に触れる機会を増やしたいと思っています。たけまるホールや美楽来なども、もっと利用したいと思っています。
- 85
- 86 「好き」を表現できる場

子どもたちが気軽に立ち寄れる居場所が学校の中や学校の近くに校の近くにあるといい

ワクワクして没頭するような体験

子どもが生き生きと体を動かせる空間を用意

- 87 外での遊び、お祭り、キャンプファイヤー、野菜収穫などを増やして体験してほしい
- 88 安全に遊べる公園。将来を意識できる機会を増やす、あらゆる職業の方と出会える体験。
生駒山を知る登山体験。
- 89 親にも子供にも、お金についての知識や、学び
茶道体験、日本人として誇るべき伝統の知識、英会話や、国際交流に際して必要な知識や体験をして欲しい。

3. 子どもの保護者やひとりの市民として、今後どんな知識やスキルを身につけたいと思いますか。そのためにはどんな場があればいいと思いますか。

- 1 子どもだけで遊べる無料開放の場が必要。親は構い過ぎず放任することも大事
- 2
- 3 学習障害、発達障害について学ぶ機会が欲しい
- 4
- 5 1人1人が活躍できる職業を見つけられる場
- 6 子供達の興味のある事（遊びでも何でも）を子供達から聞き教えてもらいたいです。
- 7
- 8 介護や救助や応急処置の知識をもっと経験したいと思います。人手不足を解消するには助け合うしかありません。行政に頼りきるのではなく、ある程度の事は市民レベルで誰もがだいたいこなせるようになった方が良くと思います。セミナーをすぐで案内して頂き会場に行ったり、オンラインでの受講などが出来ればと思います。
- 9 働くということはどういう事なのか、どうしたらお金はなくなるのか、どうしたら貯まるのか、など実際の経営について、中小企業経営者や個人事業主目線のお話を聞きたい。
- 10 未来を担う子供達が、立派な社会人になる為に、家庭でできる事の情報や知識を、ラインなどで自分の隙間時間に読めたらする配信があればと思います
- 11 個性を伸ばせる、発言出来る、違いを認め合う人間形成の場が必要。現在の教育では統一的な教育で馴染めない子が不登校等になる。子供が問題ではなく、受け皿がないのが問題。学校の負担が大きいため地域連動して教育を担っていけるようなしくみが必要では？
- 12 日常のインフラを支えてくれている職業の方への理解を深めたいです。生駒市清掃社には子どもと見学に訪れて、浄水場の見学も試みましたが、平日だったため参加できず、残念な思いをしました。日常の当たり前を支えてくれている方々に、親子で尊敬の念を抱けるよう知識を蓄えられる機会が、セミナーでもオンライン動画でもあれば積極的に参加したいと思っています。
- 13 日本のこれまでの兵隊を育てる教育から、時代に合った学び方育ち方ができるように考えたい
- 14 環境問題への知識、AIに負けないスキルを身につけてほしい。
- 15 自分の正直な気持ちを溜め込まないで、自然に発言することができるようになる。
- 16 生駒で有名な太鼓や茶せんなどの体験を通して興味を持ってもらったらいいと思う。勉強以外の手先を動かす機会があればいい。
伝統工芸を引き継ぐなど、あまり深掘りされない生駒の仕事とかも知ってもらえたらいいなと思います
- 17 子供が楽しく学べるためのスキル
- 18 放課後に学童が終わってから、1人で家で過ごす子を預かるなど、そんな専門の知識獲得などがあれば素敵だと思う。
- 19 コミュニケーション能力を身につける。様々な人達と交流出来る場。

- 20 どんな社会でも生き抜く力。子どもたち一人一人が自尊心を育むこと。
その為に必要なのは遊び場です。小中学生が思いっきりはしゃいで走り回れる公園が、生駒市にありますか？子どもたちは遊びと居場所を求めています。共働き世帯が増え、家でゲームばかりする子に遊び場をください。誰でも安心して思いっきり遊べるプレーパークのような場所を、ぜひひ作って欲しいです。
- 21 より良い言葉の伝え方を教える機会
(ネットにより参加できる仕組み)
- 22 子どもの保護者やひとりの市民として、今後身につけたい知識やスキルは、以下のとおりです。
子どもの成長と発達に関する知識子どもの成長と発達は、一人ひとり異なります。子どもの個性やニーズを理解し、適切な支援や指導を行うためには、子どもの成長と発達に関する知識が必要です。子育てに関する知識子育ては、喜びや楽しみだけでなく、悩みや苦勞も伴うものです。子育てに関する知識を身につけることで、子育ての不安やストレスを軽減し、より充実した子育てを送ることができます。社会問題に関する知識子どもたちが健やかに成長するためには、社会が子どもたちの権利を守り、子どもたちが安心して暮らせる環境を整えることが大切です。社会問題に関する知識を身につけることで、子どもたちが直面する問題について理解を深め、社会の課題解決に貢献することができます。コミュニケーションスキル子どもや地域の人たちと円滑にコミュニケーションをとるためには、コミュニケーションスキルが必要です。コミュニケーションスキルを身につけることで、子どもや地域の人たちと信頼関係を築き、より豊かな人間関係を築くことができます。問題解決スキル子育てや社会生活の中では、さまざまな問題に直面します。問題解決スキルを身につけることで、困難な状況にも冷静に対処し、問題を解決することができます。これらの知識やスキルを身につけるためには、以下のような場があるとよいと思います。子育て講座やセミナー子育てに関する知識やスキルを身につけるためには、子育て講座やセミナーを受講するのもよいでしょう。子育て講座やセミナーでは、専門家から直接指導を受けることができ、子育てに役立つ情報を得ることができます。地域のコミュニティやボランティア活動地域のコミュニティやボランティア活動に参加することで、子どもや地域の人たちと交流する機会を増やすことができます。地域のコミュニティやボランティア活動に参加することで、コミュニケーションスキルや問題解決スキルを身につけることもできます。インターネットや書籍インターネットや書籍を活用することで、さまざまな知識やスキルを身につけることができます。インターネットや書籍は、自分のペースで学習を進めることができるのがメリットです。子どもの成長や社会の変化は速く、常に新しい知識やスキルが求められます。子どもの保護者やひとりの市民として、常に学び続ける姿勢が大切です。
- 23 広報を読んでいるが、それがどうつながるかがよくわからないことも多い。
議会だよりも同じ。
自分自身の知識のなさを感じる。議員や市長との市民のオープンなミーティングがあればいいなと思う。

- 24 バイオリンが弾けるようになりたい。
気軽に初心者が集い練習できるところがあったら行ってみようかな?と思うかも。
- 25 質問の意図と違いますが、
部活の顧問の手助けができれば、先生の負担が減り、子ども達もより充実した部活動ができると思う。
- 26 AI時代にAIに使われる人ではなく、使いこなす知識やスキルを身に着けたい。
そのためには、新井紀子先生や松尾豊先生の講演会を定期的に企画して欲しい。
講演会の後、子どもから大人まで市民の希望者でリーディングスキルテストを受ける。
- 27 不登校 ひきこもりの子ども 生きにくさを感じている子どもに対応できる知識やスキルを身につけたいです 通級指導教室担当者、不登校児童対応教員の育成講座があるとうれしいです
- 28 和楽器を聞いたり体験したりしてみたいと思いました。和太鼓の鑑賞会などは小学校であったりしますが、琴や三味線はなかなかないので、体験できなくても身近で聴けるようなところがあったらいいなと思いました。
他にも色々思うのですが、まとめられなかったので、やめます。
- 29
- 30 会話できる英語。授業、クラスに馴染めない子ども達のための教室。
- 31 学校でも行われているような税金の知識（使われ方など）
- 32 投資セミナーや、メルカリ活用法などをたけまるホールなどではなく、小中学校を会場にして欲しい。保護者も近隣住民も参加可能にすれば、より地域と学校がつながって良いと思う。
- 33 簿記やなにかしらの資格など。土日があると嬉しいです。
- 34 上記の様な体験学習の場が多くあると、子どもを連れて参加する事ができ、子どもの可能性を広げる事に繋がるのではないだろうか。
また、普段はあまり深く関わる事ができない子どもと親とのふれあいの場にもなるのではないだろうか。
- 35 親子で参加できる無料のセミナー
- 36 コーチングスキル。
- 37 知識やスキルより、まずは社会の子どもがいる世帯への柔軟な対応を望む。送り迎えなどで時間に追われて心の余裕がない。今も会社に遅れるとヒヤヒヤしている。
- 38
- 39 スキルとしては特に語学力（英語）
英語圏出身者とのコミュニケーション機会が得られる場等。
- 40 ・ペアレントトレナーになりたい
・子どもたちも大人も楽しめるイベントの企画や運営に参加したい
- 41 英語のスキルや茶道の文化知識を身につけたいです。ホームステイや留学生を受け入れる場があれば良いと思います。

- 42 災害や事件などの不安が多い世の中なので、命を守るために必要なスキル。子育てについてのスキル。学校で保護者も参加できる研修などがあると嬉しい。
- 43 身の回りに関する法律知識。法律家による定期的な講演会。学びたい方が集まる勉強会など。
- 44 近くの誰かを助けれる何か。今の自分でできる、例えば車で買い物に行くから近くのお年寄りを乗せていくとか、学校の子供達や先生ではなかなかてをつけられない場所の掃除をする、とか、お年寄りも参加できて、そして地域の足りない人出を補充する、みたいな募集して派遣してくれる場所があれば、ボランティアで参加したいです。
- 45 詐欺に対する知識と合わないために気をつける事を学ぶ
- 46 自分の求めるものに向かうために、必要なことを構築する力。そのためのコミュニケーションは、もとより、自分の弱点などを認識しておくことや自分の活かし方など、その時の自分を状態を知ること、分析できるような学びが、行事などを通して学べたらいいかと思います。
- 47 地域のことを学ぶ機会がもっとあればいいと思います。
街の歴史や山遊びなどは時間に余裕のある世代向けで小さな子どもがいるファミリー世帯向けの機会は少ないと思います。
単発ではなく継続的に学べる講座や
野外体験を通じて、子どもと一緒にスキルを身に付けるようなことが年齢ごとにあると嬉しいです。
- 48 「ふつう」や「常識」などの多数派の価値観に気付くことで、安易に、他者を批判せずに、「そんな人があるんだな」、「そんな考えもあるんだな」、「そうしてるのにはなにか理由があるのかな」等、他者のことを想像するスキルを研ぎ続けられる大人でいたい。
(同調圧力が息苦しい、。、。)
- 例)女装している高齢の男性が前から歩いてきたときに、私にはその格好が似合っているとは思わないけど、その人は好きでしてるのかな。ちょっと私は違和感あるから、右の道を曲がって行こうかな。
- 49 保護者も子供から学ぶことはたくさんあるので、共に学びあえるような場所ができるといいですね。核家族が大半なので、老若男女が気軽に立ち寄れるような憩いの場があるだけでも、お互いによいのではないのでしょうか。まずは、身近な地域から生み出せればと思います。
- 50 救護処置ができるように簡単なレクチャーの場があればいいなと思います。
- 51 そもそもどんな学校があるのか、どのような仕組みで入学できるのか、また入学してからどのような事が学べるのかなどが分からない。将来世界に通用する人材を育てるために、地域として子供たちに何ができるかを意見交換する場所や、各学校や大学との地域交流など。
- 52 筋トレや運動、ストレッチがしたい。
小さい子どもも預けられる所がその場にあると助かります。
- 53 保育士資格取得、ピアノ、ギター、ドラムなどやってみたい。低料金の体験会などがあつたらいいな、と思う

- 54 自分の人生を謳歌するスキルを身につけたいと思っています。大人が生き活きと生きているだけで、子どもたちは勝手に学んでくれるものだと思います。生駒市の大人が生き活きと人生を謳歌するために、生駒市内に沢山の種々様々な仕事があればいいと思います。そして、低賃金で時間拘束がキツく責任も大きく乗せられるようなブラックパートみたいな仕事を無くしていった方がいいです。
- 55 子供と楽しく関わるためのスキルや接し方を学ぶ場があればと思います。
- 56 学校や社会に任せっきりでなく、保護者も学ぶ必要がたくさんあると感じています。本質的なお金の仕組みや投資や保険に対する正しい知識や、正しい性教育を子どもたちのきちんと伝えられるスキルを身につけたいと思います。
学校や園を通して、学びの場を提供いただけたら保護者も参加しやすいのではないかと思います。オンラインでの講座だとより参加しやすいと思います。
- 57 精神を病んでいる子、不登校の子、自殺を考えている子を支えられるような知識を身につけたいと思います。
- 58 発達障害などで子どもが社会的に好ましくない行動をする時、子どもを教育しようとする機関はたくさんあると思うが、その親を教育してくれる機関がないように思う。親への支援も必要だと思う。
また、発達障害の子の親だけでなく、その他の親も子どもの発達について学べると良いと思う。子どもの発達に有益な事、有害な事。例えばYouTubeの見せすぎがどのように脳に影響を与えるのか、など。あまり興味のない人でも肩苦しくなく育児を学べる場があると良いと思う。
- 59
- 60 コーチング、学校で教えてくれないお金の知識。オンライン講座など
- 61 デジタル化に対応するスキルを身に付けたいです。社会ではDX推進が当たり前になっています。そのような学習の場があれば良いと思います。
- 62 こどもの本当の意味での幸せとは何か、そのための知識やスキルを身に付けたい。
- 63 特になし。
- 64 ネット社会の中で、相手の人を重んじたり自分を守ったりできるよう、適切な判断力を身につけてほしい。学生の間、たくさんの人とのリアルな繋がりを心に刻んでほしいと思います。そして自分も相手も大切にできる大人になってほしいです。
- 65
- 66 お金の勉強やPCの勉強が身近にあると良い。
- 67 育児と家事と仕事とやりたいことのバランスの取り方。実践事例を配信とかしてもらえるといいと思います。
- 68 語学や手話
- 69 今現在あるスキルで毎日フル活用してるので場は求めてないが、お年寄りの方が子供と接する機会をもっと増やせたら、楽しい街になるのではと思う。
- 70

- 71 子どもの進路について、自分も知識が限られていると感じているので、子どもと一緒に様々な進路があることを学べる場があると嬉しいです。
- 72 不登校の子供の将来をどうしていけばいいのか、進学や就職の場はあるのか知識を身に付けたいです。不登校の子供は誰か分かっているのにどうして何も情報提供してくれないのでしょうか。どんなことでもいいので将来について何ができるのか情報提供をしてほしいです。
- 73 子どもへの接し方、子どもが自信を持って生きていけるように親はどう対応していくのかを知りたい。親の心理的サポート（相談や、愚痴を言うだけでも）を匿名でLINE等で専門職の人に聞いてもらえるなど気軽に出来たら使う人も増えるかなと思う
- 74
- 75 先生と保護者がもう少し近くなればいいな、と思います。
学校に保護者や地域の方が自然と遊びに行けるような場所になれば最高だな～と思います。
- 76 身につけたいのは、ワークショップなどで子供と関わる技術。
PTAでやらなければいけないこと以上に保護者が強制的に働かなければいけない他の場はこれ以上いらないです。
- 77 子供は親の助けを借りたら色々とできることもある、というのをわかってほしい。中にはまだできないこともある、ということを知って欲しい。優しく見守って。
- 78 相手の気持ちを考えて行動できるスキル、他職種による交流の場が必要と考えます
- 79 今、うちの娘が不登校の状態、午前中は体がしんどいらしく学校へ登校できずにいます。学校へ行きたくないという気持ちがあるのではなく、行けなくて残念な気持ちと共に登校できていません。昼を過ぎるとだんだんと動き出せるようになるため、放課後に学校へ行かせてもらって、先生方とコミュニケーションをとる機会を作っていただいて、少しずつ勉強も教えてもらっています。不登校の理由も様々あると想像します。いろんな状況の方達の状況は学校の方で持たれていると思います。子供の状態や親の対応も千差万別であると思われます。どのような対応が正しいのかは子供の状態にもよるので、結果論的に親の願うように子供が変わってくれば上手かった、あるいは成功したと言えるのだと思います。我が子が不登校になった時に、どのように対応するのが正しいかが未知の場合に親は上手くいった前例を知ることで勇気を持てるかと思えます。そこで、自分の具体例を他の親の方達と情報共有できるオンラインコミュニティの場を準備していただきたいです。日本のどこかでの情報ではなく、生駒市内での事例として、身近に感じられる成功例を知ることで、親の方が自信を持って子供に向かい合えるようになると思います。
- 80 救急救命やアレルギー、災害に関する研修を定期的かつ簡単に受けられる場が増えると嬉しい。災害練習キャンプなどのイベントがあれば子連れで参加したい。
- 81 子供に怪我、急病があった場合の対策。現在もそれは生駒市として、されてますが、土日だけでなく、平日にももっと実施いただきたいです。
- 82 平日や土曜日の講座や体験会などが多いので仕事をしながらでも参加できる日曜日も開催してほしい。

- 83 生駒では沢山講習をして頂いていて色々興味もあるのですがなかなか参加まではいけません。難しいかもしれませんが後日動画配信など情報を簡単に手に取ることが出来るとうれしいです。
- 84 何歳になっても学び直しができる環境があればと思います。
- 85
- 86 教育に関する価値観を見直す機会が必要
- 87 誰でも参加出来るような色々な催しがあればいいと思います
- 88 健康に暮らせる食事や漢方の知識。
リラックスできる場所 温泉施設。サウナ。
- 89 海外に通用する言語の知識や、日本人として、日本を説明できる知識、